

取扱説明書

ハイビジョンプラズマディスプレイ 業務用

品番	TH-65PF11KR	(65V型)
	TH-58PF11KR	(58V型)
	TH-50PF11KR	(50V型)
	TH-42PF11K	(42V型)



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～6ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- この取扱説明書は、TH-65PF11KR (65V型)、TH-58PF11KR (58V型)、TH-50PF11KR (50V型)、TH-42PF11K (42V型) 共用です。
- 製造番号は安全確保上重要なものです。
お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

商標について

- VGA、XGA、SXGA は米国 International Business Machines Corporation の商標です。
 - Macintosh は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

もくじ

安全上のご注意	3	初期設定 (SET UP)	29
お手入れ／上手な使いかた	7	信号モード	29
付属品の確認	8	コンポーネント入力切換	32
別売オプション	8	YUV / RGB切換	32
リモコンの電池の入れかた	8	入力表示書換設定	32
接続	9	消費電力低減設定	32
スピーカー端子の接続	9	待機電力低減設定	32
電源コードの接続と固定、		DPMS機能	33
接続ケーブルの固定	9	無信号自動オフ	33
フェライトコアの取り付けかた	9	表示言語切換	33
DVI-D入力 (DVI-D IN) 端子の接続例	10	スクリーンセーバー	34
コンポーネント / RGB入力 (COMPONENT /		マルチ画面設定	36
RGB IN) 端子の接続例	10	2画面設定	38
パソコン入力 (PC IN) 端子の接続例	11	ポートレート設定	39
シリアル (SERIAL) 端子の接続例		タイマー設定	41
(パソコンで制御する場合)	12	現在時刻設定	41
ディスプレイ設置	42		
各部の基本説明	13	オプション (Options)メニュー ...	43
リモコン	13	Weekly Command Timer (ウィークリーコマンドタイマー) ...	44
ディスプレイ本体	14	画面モード一覧	48
基本の操作	16	工場出荷時の設定に戻すには	49
電源を入れる	16	Weekly Command Timerのコマンド ...	49
入力信号を切り換える	17	表示可能な入力信号	50
パソコン画面に切り換える	17	修理を依頼される前に	51
入力信号・画面モードなどを知りたいとき	17	保証とアフターサービス	52
音量を調整する	17	仕様	53
消音を使う	17		
サラウンド (SURROUND) を使う	17		
オフタイマー (OFF TIMER) を使う	17		
画面領域を拡大表示する			
(デジタルズーム)	18		
映像に合わせた拡大画面にする			
(ASPECT)	19		
2画面で表示する	21		
オンスクリーンメニューについて	23		
画面位置 / サイズの調整			
(POS./SIZE)	24		
音声の調整 (SOUND)	26		
SD1 音声出力	26		
画質の調整 (PICTURE)	27		
テクニカル調整	28		

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



気をつけていただく内容です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

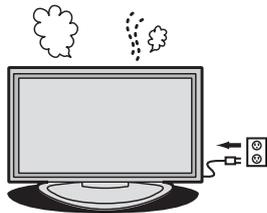
異常が発生したときはすぐに使用をやめてください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となりますので、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。

■ **故障(画面が映らない、音が出ないなど)や煙が出ている、へんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く!**
電源プラグは容易に手が届く位置の電源コンセントを使用ください



電源プラグを抜く

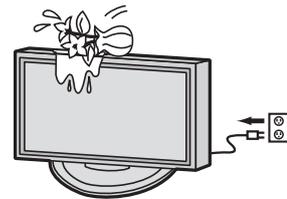


煙が出なくなるのを確認して修理を販売店にご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから、おやめください。

■ **内部に異物や水などの液体が入ったり、本機を落としたり、キャビネットが破損したら、電源プラグを抜く!**



電源プラグを抜く



■ **異物を入れないでください**



禁止



通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

● 特にお子様にはご注意ください。

■ **壁掛け工事や天吊り工事は、工事専門業者にご依頼ください**



工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

● 指定の別売オプションをご使用ください。

● 表紙および3ページ以降のイラストはイメージイラストであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

警告

電源コードについて

- 電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください



禁止

火災や感電の原因となります。

- 電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください



湿気などで絶縁不良になり火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください



ぬれ手禁止

感電の原因となります。



- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外では使用しないでください



禁止

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

- 上に水などの液体の入った容器を置かないでください



水ぬれ禁止



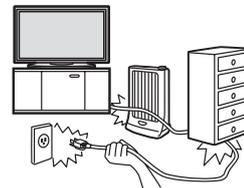
水などの液体がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの液体が入った容器)

- 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください



禁止



傷つけたり、加工したり、重いものをのせたり、加熱したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っばったりすると芯線の露出、ショート、断線により火災・感電の原因となります。

- 電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください



差し込みが不完全ですと感電や、発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

- アースは確実に行ってください



感電の原因となります。本機の電源プラグはアース付き3芯プラグです。機器の安全確保のため、アースは確実に行ってご使用ください。

- アース工事は専門業者にご依頼ください。

- ぬらしたりしないでください



水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

- 雷が鳴りだしたら本機には触れないでください



接触禁止



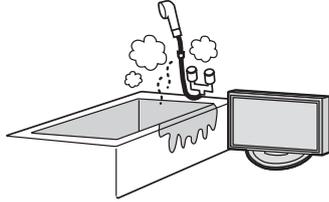
感電の原因となります。

警告

■風呂場、シャワー室では使用しないでください



水場使用禁止

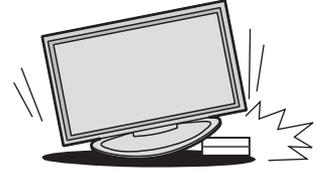


火災・感電の原因となります。

■不安定な場所に置かないでください



禁止



ぐらついた台の上や傾いた所など、倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

■裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、改造したりしないでください



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



高圧注意

サービスマン以外の方は、裏ぶたをあげないでください。
内部には高電圧部分が多くあり、万一さわると危険です。

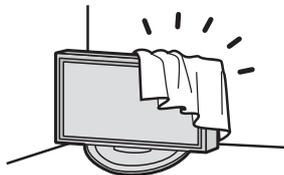
「本体に表示した事項」

注意

■本機の通風孔をふさがないでください



禁止



内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがありますので次の点にご注意ください。

- 据置きスタンドをご使用のときは、上面・左右は10 cm以上、後面は7 cm以上の間隔を置いて据えつけてください。また、本機下面と床面との空間をふさがないでください。その他の取り付け方でご使用のときは、対応する取り付け工事説明書に従ってください。（工事説明書に寸法の記載がない場合は、上下・左右は10 cm以上、後面は7 cm以上の間隔を置いて据えつけてください。）
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。
- あお向けや横倒し、逆さまにしないでください。

■本機に乗ったり、ぶらさがったりしないでください



禁止



倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、小さなお子様にはご注意ください。

■本機に脚立を立てかけるなどしないでください



禁止

落下してけがの原因となることがあります。

■上に物を置かないでください



禁止



倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

■湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かないでください



禁止



調理台や加湿器のそばなど火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

■ 電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください



コードを引っばると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

■ 長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください



電源プラグを抜く

電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

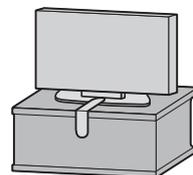
■ 移動させる場合は、接続線ははずしてください



コードや本機が損傷し、火災・感電の原因となることがあります。

- 電源プラグや機器間の接続線や転倒防止具をはずしたことを確認のうえ、行ってください。
- 開梱や持ち運びは2人以上で行ってください。
- 本機に衝撃を与えないでください。

■ 据置きスタンド(別売)をご使用になるときは、安全のため、転倒・落下防止の処置をしてください



地震やお子様がよく登ったりすると、転倒・落下しけがの原因となることがあります。

- 据置きスタンドに付属している転倒防止具を使用してください。

■ 接続ケーブルの処理は確実に行ってください



ケーブルを壁面に挟んだり、無理に曲げたり、ねじったりされると、芯線の露出、ショート、断線により、火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続ケーブルを引っばったり、ひっかけたりしないでください



倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

禁止

- 特に、お子様にはご注意ください。

■ 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください



禁止

間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■ ディスプレイパネルはガラス製ですので、強い力や衝撃を加えないでください



禁止

けがの原因となることがあります。

■ 電池を入れるときには、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意してください



機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

お手入れについて

■ 1年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください



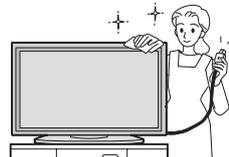
内部にほこりがたまつたまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店にご相談ください。

■ お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください



電源プラグを抜く



感電の原因となることがあります。

お手入れ／上手な使いかた

■ 設置されるとき

本機の設置については、下記の事項をお守りください。

- **機器相互の干渉に注意してください。**
プラズマディスプレイの影響を受けて、ビデオやラジオ等の映像や音声に雑音が入ったり誤動作する場合があります。
(発生した場合はディスプレイ本体から十分離してご使用ください。)
- **機器の接続は電源を「切」にして行ってください。**
各機器の説明書に従って、接続してください。
- **振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。**
本機に振動や衝撃が加わって内部の部品が傷み、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- **本機の質量に耐えられる場所に設置してください。**
指定の取り付けユニットをご使用ください。
- **高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。**
高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。
- **直射日光を避け、熱器具から離して設置してください。**
キャビネットの変形や故障の原因となります。
- **本機を移動されるとき。**
ディスプレイパネル面を上または下にしての移動はパネル内部の破損の原因となります。

■ ご使用になるとき

- **本機は残像が発生することがあります。**
画面モードを「ノーマル」(映像の横縦比4:3)や2画面表示で長時間ご覧になると、映像の表示部と両端の映像の映らない部分とで画面の明るさが異なるため、残像(焼き付き現象)が発生します。画面モードをジャストやフル、ズームにしてご覧になると軽減されます。静止画や静止文字を長時間表示した場合、同様に残像が発生します。この場合は、動きのある映像でしばらくお使いいただくと、少し軽減されますが、完全に消えませんのでご注意ください。
- **ディスプレイパネル表面について**
ディスプレイパネル表面に指紋や汚れが付くと、きれいな映像が見られません。
傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- **適度の音量で隣近所への配慮を**
特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりして生活環境を守りましょう。

● 長時間ご使用にならないときは

電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
<TH-42PF11K、TH-50PF11KR>
リモコンで電源を切った場合は約 0.9 W (待機電力低減設定「オフ」) または約 0.5 W (待機電力低減設定「オン」)、本体の電源を切った場合は約 0.1 W の電力を消費します。
<TH-58PF11KR、TH-65PF11KR>
リモコンで電源を切った場合は約 1.0 W (待機電力低減設定「オフ」) または約 0.5 W (待機電力低減設定「オン」)、本体の電源を切った場合は約 0.2 W の電力を消費します。

■ お手入れについて

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

- **キャビネットはやわらかい乾いた布で**
汚れがひどいときは水で薄めた台所用洗剤(中性)にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。
- **殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない**
キャビネットの変質や塗装がはがれます。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。
- **ディスプレイパネルの前面は時々、やわらかい布(綿・ネル地など)で軽くふく**
 - ・ ひどい汚れやディスプレイパネルの表面に付着した指紋汚れなどは、水で100倍に薄めた中性洗剤に布をひたし、かたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
 - ・ 水滴が内部に入ると故障の原因になります。

お知らせ ディ스플레이パネルの表面は特殊な加工をしています。固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷が付く原因になります。

赤外線軽減対応モデル

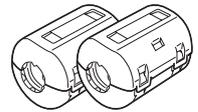
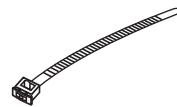
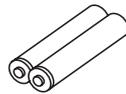
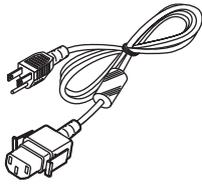
TH-65PF11KR、TH-58PF11KR、
TH-50PF11KR

本機はディスプレイパネルから放射される赤外線による、赤外線通信機器への干渉をおさえる前面ガラスを使用しています。プレゼンテーションや会議、カラオケなどに赤外線ワイヤレスマイクなどの赤外線通信機器がご使用いただけます。

付属品の確認

付属品が入っていることをご確認ください。()は個数です。

- 電源コード (1) リモコン (1) 単3形乾電池 (2) バンド (1) フェライトコア (2)



フェライトコアの取り付けかた (P.9ページ)

別売オプション

別売オプションの設置は、しっかり取り付けてください。(取り付けは専門の業者にご依頼ください。)

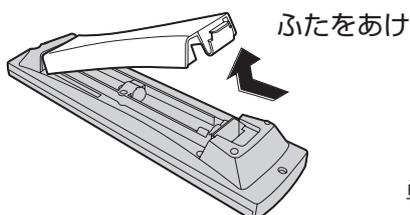
[例] 据置きスタンド使用の場合

- 据置きスタンド :
 - TY-ST07-K (42V型用 色調: 黒色)
 - TY-ST08-K (42V型 / 50V型用 色調: 黒色)
 - TY-ST58-K (58V型用 色調: 黒色)
 - TY-ST65P11-K (65V型用 色調: 黒色)
- 移動式スタンド :
 - TY-ST42PF3 (42V型用)
 - TY-ST58PF10 (42V型 / 50V型 / 58V型用)
- 壁掛け金具
 - 垂直取付型 : TY-WK42PV7 (42V型 / 50V型 / 58V型用)
 - TY-WK65PV7 (65V型用)
 - 角度可変型 : TY-WK42PR7 (42V型 / 50V型 / 58V型用)
 - TY-WK65PR8 (65V型用)
 - 引き出し式 : TY-WK42DR1 (42V型 / 50V型用)
- 天吊り金具 : TY-CE42PS7 (42V型 / 50V型用)
- スピーカー :
 - TY-SP42P8-K (42V型用 色調: 黒色)
 - TY-SP50P8-K (50V型用 色調: 黒色)
 - TY-SP58P10K (58V型用 色調: 黒色)
 - TY-SP65P11K (65V型用 色調: 黒色)
- RGBアクティブスルー端子ボード : TY-42TM6G
- PC入力端子ボード : TY-42TM6P
- コンポーネントビデオ端子 (RCA) ボード : TY-42TM6Z
- コンポーネントビデオ端子 (BNC) ボード : TY-42TM6A
- ビデオ端子 (RCA) ボード : TY-42TM6V
- ビデオ端子 (BNC) ボード : TY-42TM6B
- デュアルビデオ端子 (BNC) ボード : TY-FB9BD
- ビデオ/コンポーネントビデオ端子ボード : TY-42TM6Y
- DVI-D端子ボード : TY-FB11DD
- SDI端子ボード : TY-FB7SD
- Dual Link HD-SDI端子ボード : TY-FB11DHD
- HD-SDI端子ボード : TY-FB9HD
- HD-SDI端子ボード (音声対応) : TY-FB10HD
- ワイヤレスプレゼンテーションボード : TY-FB10WPE
- AVターミナルBOX : TY-TB10AV
- HDMI端子ボード : TY-FB8HM
- デュアルHDMI端子ボード : TY-FB10HMD
- Irスルー端子ボード : TY-FB9RT
- 地上デジタルチューナーボード : TY-FB11DTJ
- 光学式タッチパネル : TY-TP42P10S (42V型用)
- TY-TP50P10S (50V型用)
- TY-TP50P8-S (50V型用)
- TY-TP58P10S (58V型用)
- TY-TP65P10S (65V型用)
- タッチペン : TY-TPEN6 (50V型用)
- 映り込み軽減フィルター : TY-AR42P9W (42V型用)
- TY-AR50P9W (50V型用)
- TY-AR58P10W (58V型用)
- TY-AR65P9W (65V型用)

お願い

- 取り付けるときは別売オプションに同梱の説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- 壁掛けの取り付け工事は、性能・安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門業者に施工を依頼してください。
- 専用台、据置きスタンドの説明書をよくお読みのうえ、必ず転倒防止の処置をしてください。
- 設置時、衝撃などによる「パネルの割れ」が発生する場合がありますので、取り扱いにはご注意ください。

リモコンの電池の入れかた



電池を入れ、ふたをしめる
(⊖側から先に入れます。)

単3形乾電池

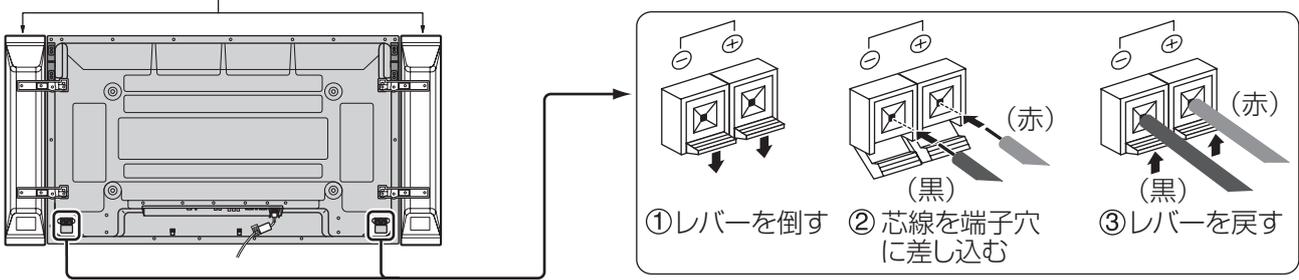
お願い

- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを落とさないでください。
- 電池を分解したり、火の中に投入したりしないでください。
また、直射日光の当たる場所や火のそばなど、高温の場所に保管しないでください。

接続

スピーカー端子の接続

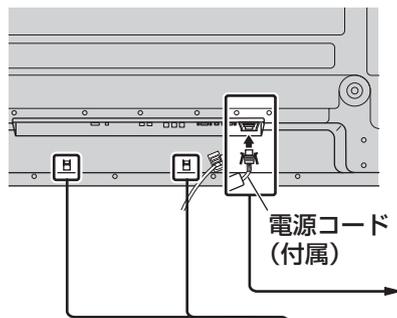
本体後面 専用スピーカー (別売 8ページ)



お願い ● ⊕と⊖をショートさせないでください。

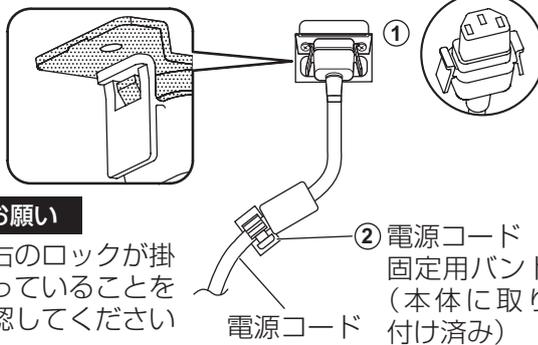
電源コードの接続と固定、接続ケーブルの固定

本体後面



接続ケーブルの固定

電源コードの固定方法

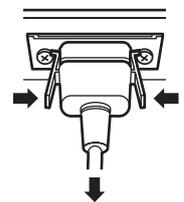


お願い

左右のロックが掛かっていることを確認してください

- ①電源プラグを本体へ差し込む
カチッと音がするまで差し込んでください。
- ②電源コード固定用バンドでコードをとめる。
[TH-42PF11K・TH-58PF11KRの場合]
本機には固定用バンドが取り付けられていません。電源コードを少したるませ、付属のバンド等で固定してください。

電源コードを外すとき



電源プラグ横のつまみを押しながら抜いてください

お願い

電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。

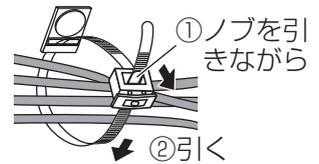
バンド (付属) で固定するとき

お知らせ

本機に同梱のバンドは 1 本のみです。接続ケーブルを 2 か所固定する場合は、必要に応じてバンドを別途ご用意ください。



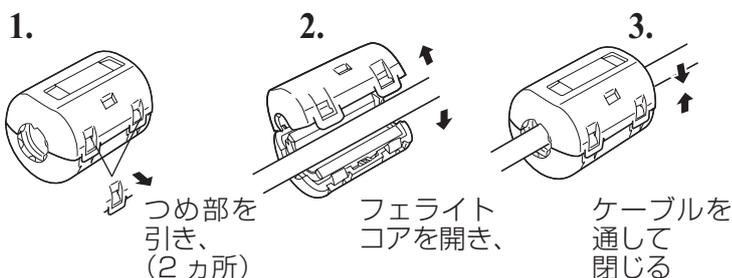
はずすとき



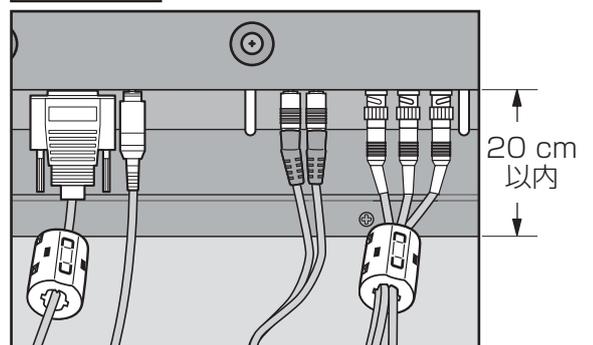
フェライトコアの取り付けかた

- 映像入出力信号ケーブルを接続するときは、必ず下記のように付属のフェライトコアを取り付けてください。
- 取り付け位置は、プラズマディスプレイの本体側20 cm以内に取り付けてください。

フェライトコアの取り付けかた



取り付け例



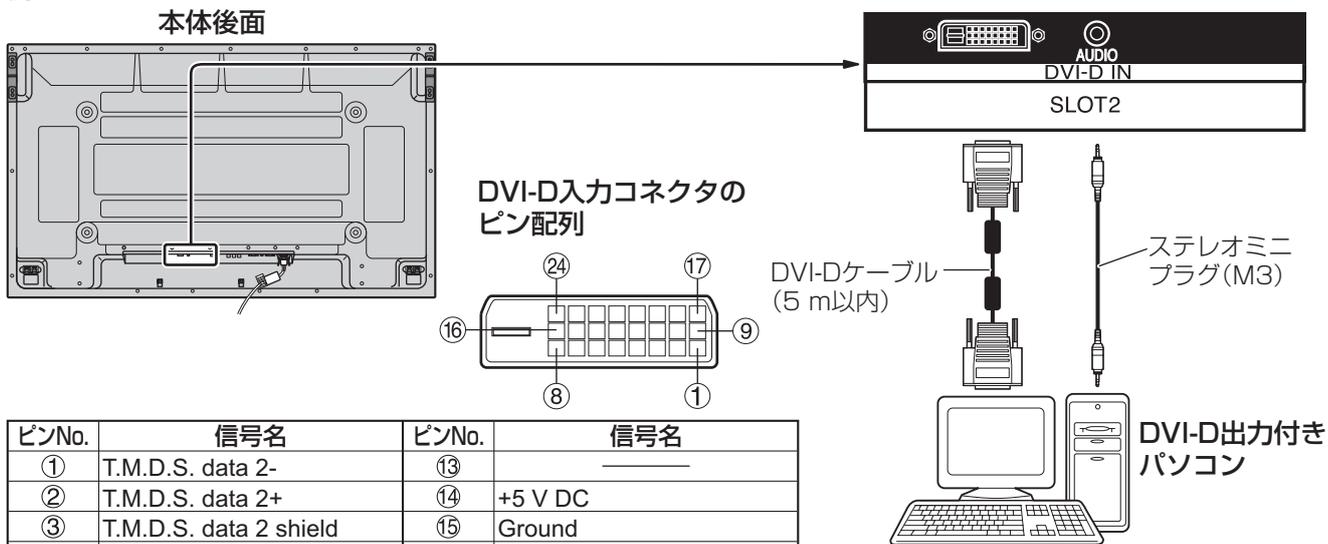
お知らせ フェライトコアを取り付けないで使用になると、映像にノイズが発生する場合があります。

接続

DVI-D入力 (DVI-D IN) 端子の接続例

本機は、DVI-D端子ボード (TY-FB11DD) 相当品を標準装備しています。

例：TH-50PF11KR



ピンNo.	信号名	ピンNo.	信号名
①	T.M.D.S. data 2-	⑬	_____
②	T.M.D.S. data 2+	⑭	+5 V DC
③	T.M.D.S. data 2 shield	⑮	Ground
④	_____	⑯	Hot plug sense
⑤	_____	⑰	T.M.D.S. data 0-
⑥	DDC clock	⑱	T.M.D.S. data 0+
⑦	DDC data	⑲	T.M.D.S. data 0 shield
⑧	_____	⑳	_____
⑨	T.M.D.S. data 1-	㉑	_____
⑩	T.M.D.S. data 1+	㉒	T.M.D.S. clock shield
⑪	T.M.D.S. data 1 shield	㉓	T.M.D.S. clock+
⑫	_____	㉔	T.M.D.S. clock-

お知らせ

- 表示可能な入力信号は (☞ 50ページ)

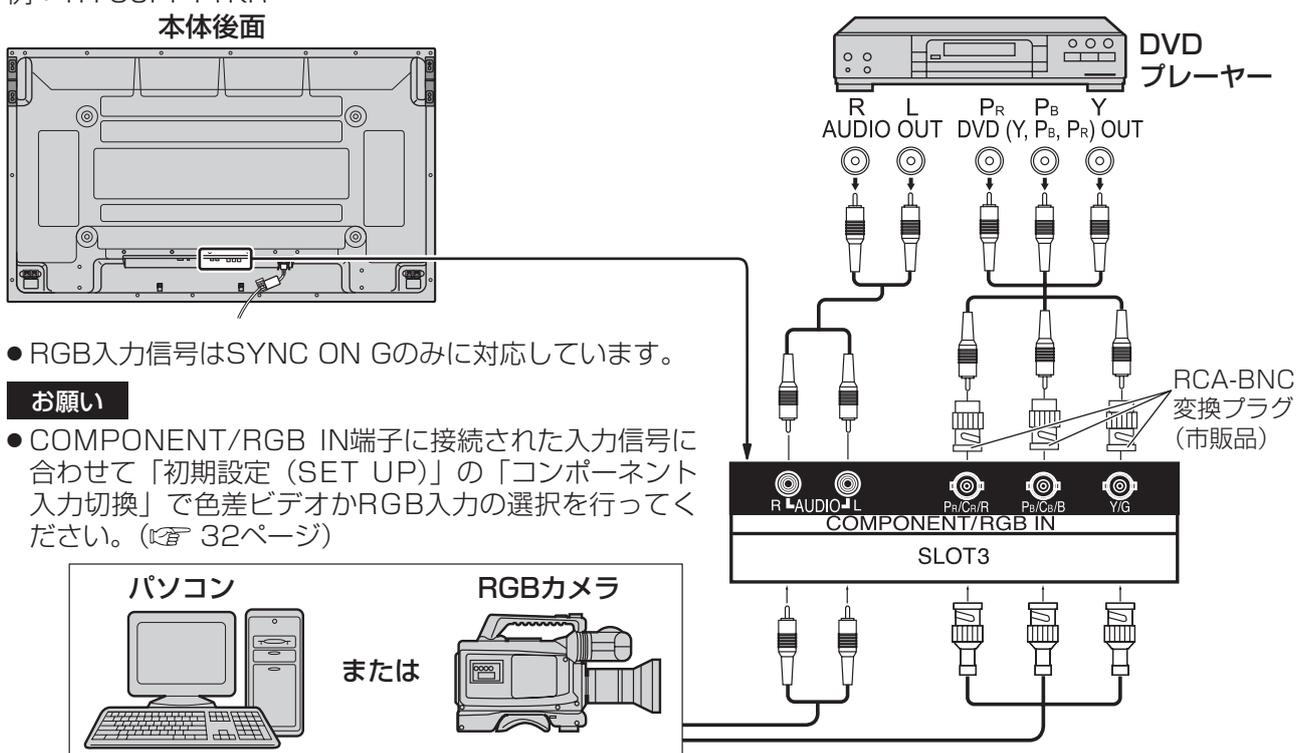
お願い

- DVI-DケーブルはDVI規格準拠のケーブルをご使用ください。(ケーブルの長さや質によって画質は劣化する場合があります)

コンポーネント／RGB入力 (COMPONENT/RGB IN) 端子の接続例

本機は、コンポーネントビデオ端子 (BNC) ボード (TY-42TM6A) 相当品を標準装備しています。

例：TH-50PF11KR

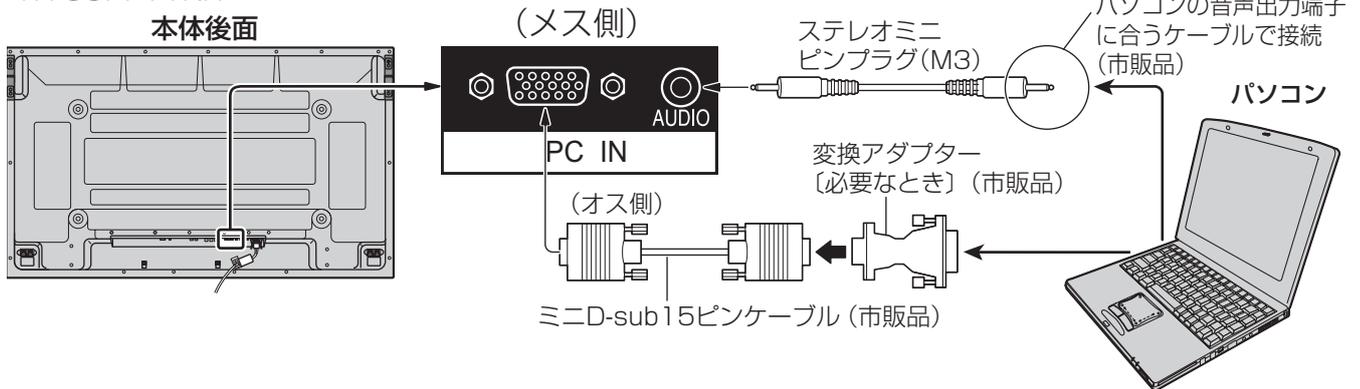


お知らせ

- 表示可能な入力信号は (☞ 50ページ)
- ブラウン管の走査を利用した電子銃による光線銃等のゲーム機器はプラズマディスプレイの構造上、使用できません。

パソコン入力 (PC IN) 端子の接続例

例：TH-50PF11KR



接続できるパソコン信号の種類

- 本機は、下の表に記載の代表的な 30 種類のパソコン信号について、あらかじめ標準的な画面の位置やサイズなどの調整値を記憶しています。

表に記載されていないパソコン信号は、最大 8 種類まで追加して記憶します。
(対応周波数は水平：15 kHz～110 kHz、垂直：48 Hz～120 Hz です。)

〈本体に記憶済みのパソコン信号一覧表〉 ※ パソコン側が以下の信号に対応している必要があります。

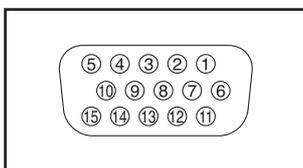
640×400:70 Hz	800×600:72 Hz	1280×768:60 Hz ※	1066×600:60 Hz ※
640×480:60 Hz	800×600:75 Hz	1280×960:60 Hz	1366×768:60 Hz ※
640×480:72 Hz	800×600:85 Hz	1280×960:85 Hz	1920×1080:60 Hz
640×480:75 Hz	1024×768:60 Hz	1280×1024:60 Hz	640×480:67 Hz (Mac13")
640×480:85 Hz	1024×768:70 Hz	1280×1024:75 Hz	832×624:75 Hz (Mac16")
852×480:60 Hz ※	1024×768:75 Hz	1280×1024:85 Hz	1152×870:75 Hz (Mac21")
800×600:56 Hz	1024×768:85 Hz	1600×1200:60 Hz	
800×600:60 Hz	1152×864:75 Hz	1600×1200:65 Hz	

- 解像度は「ノーマル」で最大1440×1080ドット、「フル」で最大1920×1080ドットの表示が可能です。(SXGA 対応)
水平または垂直解像度が上記ドットを超えるものは簡易表示になり、細かい表示が十分判読できない場合があります。
- 対応周波数を超える信号を入力すると、正常な映像を表示できません。なお、範囲内でも一部正常な映像を表示できない場合があります。
- パソコンの画面が表示されない場合はパソコンの映像信号が上記の表に該当しているかご確認のうえ、設定を変更してください。ノートパソコンでは、省電力のために映像出力をオフにしている場合があります。そのときはパソコンのファンクションキーの操作などによりオンにできる場合があります。(パソコンの取扱説明書をご確認ください)

お願い この端子 (ミニD-sub15 ピン) は、コンポーネント (色差) ビデオ信号に対応しています。入力信号に合わせて初期設定 (SET UP) の「コンポーネント入力切替」で色差ビデオかRGB 入力の選択を行ってください。(P. 32 ページ)

- お知らせ**
- ディスプレイのプラグ・アンド・プレイ (DDC2B) に対応していないパソコンは接続時の設定が必要です。
 - パソコンのモデルによっては、本機と接続できないものもあります。
 - D-sub15 ピン端子の機種やMacintosh のパソコンを接続する場合には、必要に応じて市販の変換アダプターをお使いください。
※パソコンのミニD-sub15 ピン端子が、DOS/V に対応している機種は、変換アダプターは必要ありません。

パソコン入力端子 (ミニD-sub15ピン) のピン配列と信号名

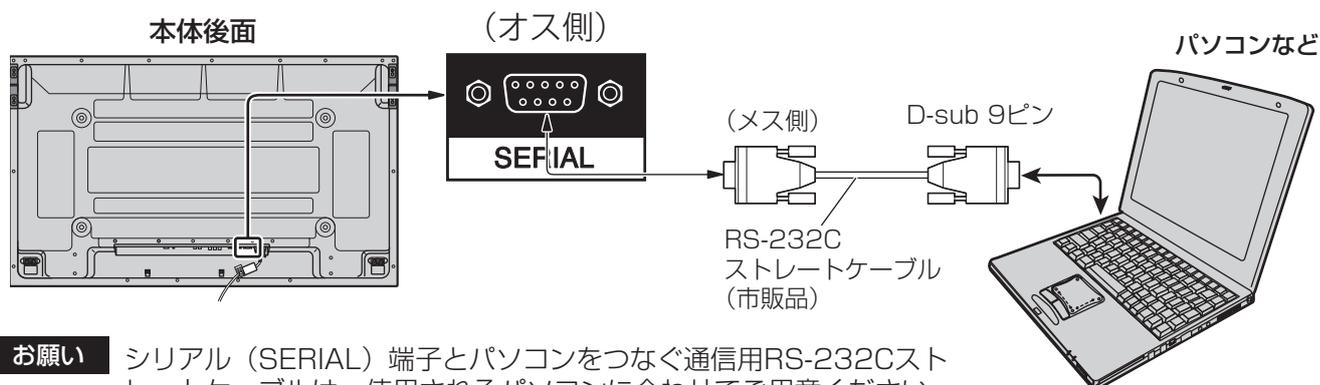


ピンNo.	信号名	ピンNo.	信号名	ピンNo.	信号名
①	R(P _R / C _R)	⑥	GND(アース)	⑪	NC(無接続)
②	G(Y)	⑦	GND(アース)	⑫	SDA
③	B(P _B / C _B)	⑧	GND(アース)	⑬	HD / SYNC
④	NC(無接続)	⑨	+5 V DC	⑭	VD
⑤	GND(アース)	⑩	GND(アース)	⑮	SCL

接続

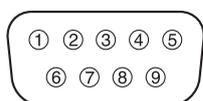
シリアル (SERIAL) 端子の接続例 (パソコンで制御する場合)

シリアル(SERIAL)端子はRS-232C 準拠のため、パソコンと接続して本体をパソコンで制御することができます。
例：TH-50PF11KR



お願い シリアル (SERIAL) 端子とパソコンをつなぐ通信用RS-232Cストレートケーブルは、使用されるパソコンに合わせてご用意ください。

ピン配列と信号名



本体側
シリアル (SERIAL) 端子

ピンNo.	信号名	内容
①	CD	NC
②	RXD	受信データ
③	TXD	送信データ
④	DTR	未使用
⑤	GND	グランド
⑥	DSR	未使用
⑦	RTS] (本体側で短絡)
⑧	CTS	
⑨	RI	NC

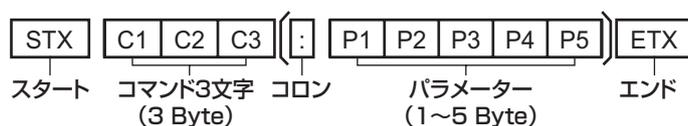
通信条件

信号レベル	RS-232C準拠
同期方式	調歩同期 (非同期)
ボーレート	9600 bps
パリティ	なし
キャラクター長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
フロー制御	なし

※ パソコン側の仕様で記載していません。

基本フォーマット

パソコンからの伝送は STX で開始され、続いてコマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。



お願い 複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから、次のコマンドを送信してください。パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合はコロン (:) は必要ありません。

お知らせ

- 間違ったコマンドを送信すると、本機から“ER401”というコマンドがパソコン側に送信されます。
- 電源「スタンバイ」状態 (リモコンで電源「切」) 中は“PON”コマンド以外の動作は保証されません。
- コマンドIMSのSL1A、SL1B、SL2A、SL2Bを選択できるのは、2入力の端子ボード装着時のみです。

コマンド一覧

コマンド	パラメーター	制御内容
PON	なし	電源「入」
POF	なし	電源「切」
AVL	**	音量 00 ~ 63
AMT	0	消音 オフ
	1	消音 オン
IMS	なし	入力切換 (トグル)
	SL1	スロット1入力
	SL2	スロット2入力
	SL3	スロット3入力
	PC1	パソコン入力
	SL1A	スロット1入力 (INPUT1A)
	SL1B	スロット1入力 (INPUT1B)
DAM	なし	画面モード切換 (トグル)
	ZOOM	ズーム
	FULL	フル
	JUST	ジャスト
NORM	SELF	セルフワイド
	SJST	サイドカットジャスト
	SNOM	サイドカットノーマル
	SFUL	サイドカットフル

各部の基本説明

リモコン

電源 (ON)

ディスプレイ本体の電源が「入」(電源ランプ赤色または橙色点灯) のとき、電源を「入」(電源ランプ緑色点灯) にします。(☞ 16ページ)

標準 (N)

映像や音声などの調整状態を標準値に戻します。

決定 (■)

メニュー画面で項目を決定します。

上・下・左・右 (▲▼◀▶)

メニュー画面で項目の選択や設定の切り換え、レベルを調整します。

画面位置/サイズ調整 (POS./SIZE)

画面位置の移動や、画面サイズの変更をするメニュー画面を表示します。(☞ 24・25ページ)

画質の調整 (PICTURE)

映像の調整・設定をするメニュー画面を表示します。(☞ 27・28ページ)

入力切換 (INPUT)

接続された機器の入力に切り換えます。(☞ 17ページ)

消音 (M)

音声を一時的に消します。(☞ 17ページ)

画面モード (ASPECT)

拡大画面を選択します。(☞ 19・20ページ)

2画面 (MULTI PIP)

1画面と2画面を切り換えます。(☞ 21・22ページ)

画面入換 (SWAP)

2画面の主画面と副画面を入れ換えます。(☞ 21ページ)

操作画面 (SELECT)

2画面のとき、操作したい画面を選択します。(☞ 21ページ)

デジタルズーム/画面位置 (MOVE ZOOM)

1画面のときにデジタルズームモードにします。(☞ 18ページ)
2画面 (P I N P) の副画面の位置を切り換えます。(☞ 21ページ)

電源 (OFF)

ディスプレイ本体の電源が「入」(電源ランプ緑色点灯) のとき、電源を「切」(電源ランプ赤色または橙色点灯) にします。(☞ 16ページ)

戻る (R)

映像、音声などの調整画面、各種機能の設定画面を一つ前の状態に戻します。

画面表示 (⊕)

入力モード・画面モードなどの各種設定状態を確認します。(☞ 17ページ)

初期設定 (SET UP)

各種機能の設定をするメニュー画面を表示します。(☞ 29 ~ 42ページ)

音声の調整 (SOUND)

音声の調整・設定をするメニュー画面を表示します。(☞ 26ページ)

入力切換 (INPUT 1・2・3・PC)

接続された機器の入力に直接切り換えることができます。(☞ 17ページ)

音量 (VOL)

音量を調整します。(☞ 17ページ)

IDリモコンとして使うときにID番号の設定に使用します。(☞ 37ページ)

オフタイマー (OFF TIMER)

自動的に電源を切ります。(☞ 17ページ)

サラウンド (SURROUND)

臨場感のある音声で楽しめます。(☞ 17ページ)

操作モード 切り換え (NORMAL, ID)

ディスプレイ本体の操作(通常)のときはNORMALに、ID selectで設定されたディスプレイ本体を操作のときはIDに切り換えます。(☞ 37ページ)

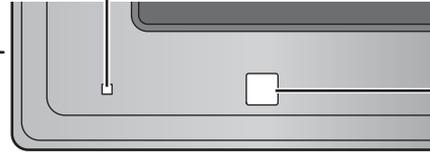
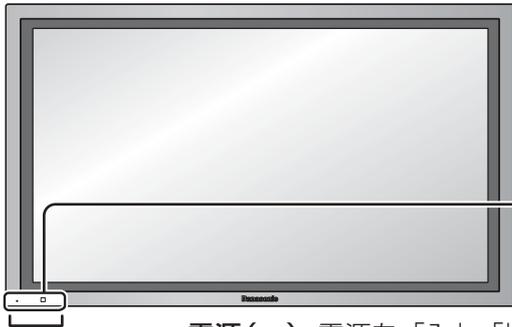
お願い

- 本体のリモコン受信部とリモコン間に障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受信部に直射日光や蛍光灯の強い光を当てないでください。

各部の基本説明

ディスプレイ本体

前面



リモコン受信部

電源ランプ

ディスプレイ本体の電源「入」のとき

- 映像表示状態 緑色点灯
 - リモコンで「切」(スタンバイ状態) 赤色点灯
 - ・ Slot powerが「On」のとき 橙色点灯
 - ・ 装着ボードの種類により、
 - スロットに電源供給されるとき 橙色点灯
 - DPMS機能で電源「切」(☞ 33ページ) 橙色点灯
- ディスプレイ本体の電源「切」のとき 消灯

電源 (⏻/⏿): 電源を「入」・「切」します。

INPUT: 接続された機器を選択します。(☞ 17ページ)

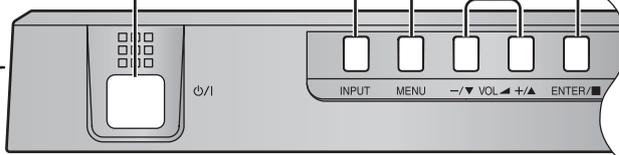
MENU: メニュー画面を表示します。(☞ 23ページ)

VOL - + / ▲ ▼: 音量を調整します。/メニュー画面で項目を選択したり、設定の切り換えやレベルを調整します。

ENTER / ■: メニュー画面で項目を決定します。/拡大画面を選択します。

- 電源が「切」および電源ランプが赤色、無点灯の場合でも一部の回路は通電状態にあります。

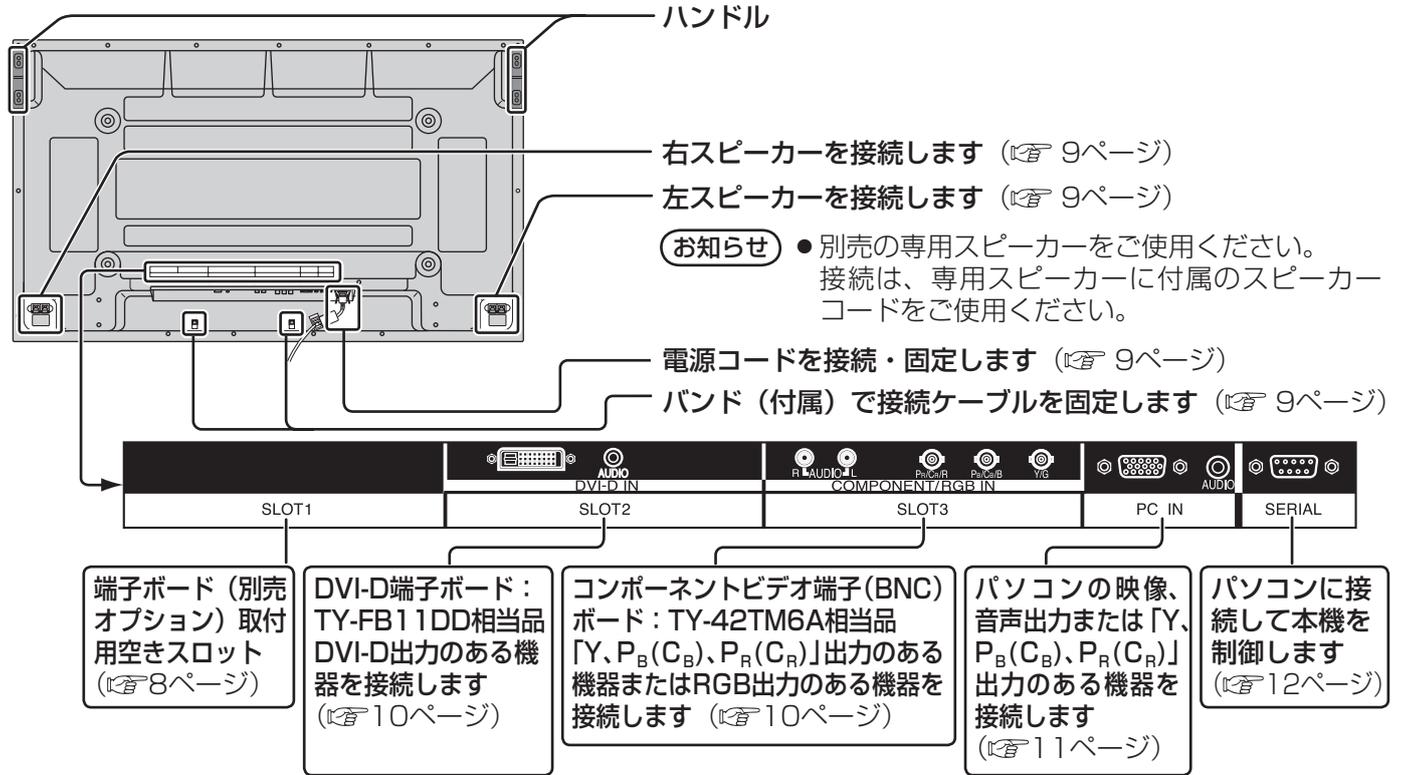
本体の底面にボタンがあります。



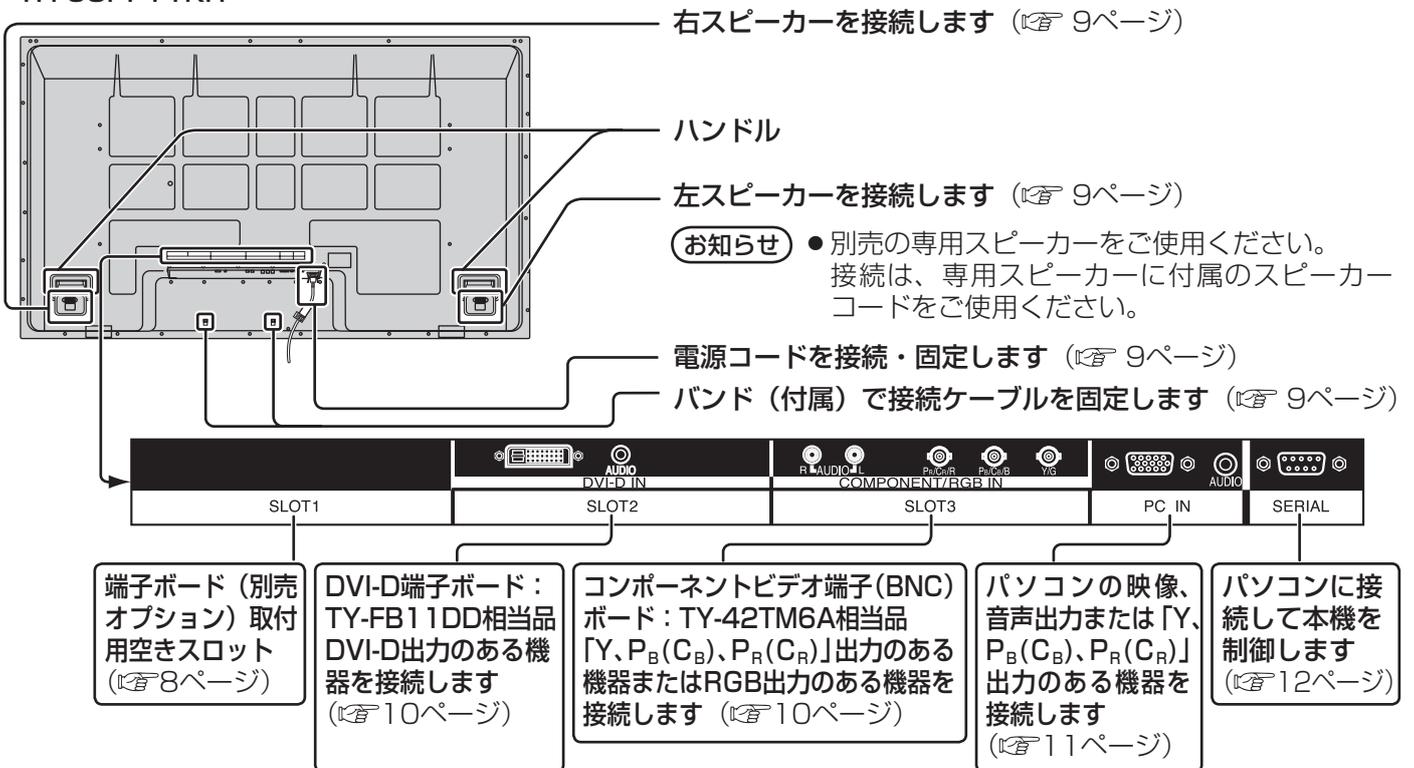
後面

TH-42PF11K・TH-50PF11KR・TH-58PF11KR

イラストはTH-50PF11KRです。



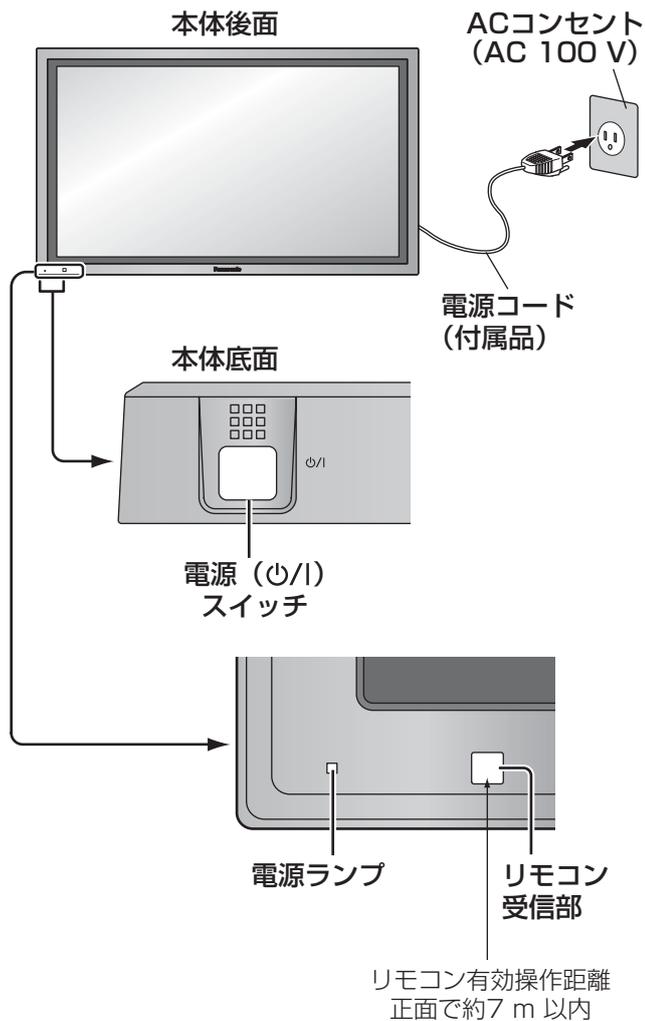
TH-65PF11KR



各接続端子について

- DVI-D IN端子 DVI-D端子
- AUDIO (IN)端子 M3ジャック
- COMPONENT/RGB IN端子 BNC
- AUDIO (IN)R-L RCAジャック
- PC IN端子 ミニD-sub15ピン
- AUDIO (IN)端子 M3ジャック
- SERIAL端子 D-sub9ピン

基本の操作



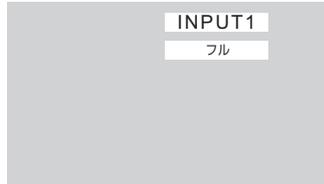
電源を入れる
 本体の電源「入」(電源ランプ---赤色または橙色)で押すと受像します。

電源を切る
 電源「入」(電源ランプ---緑色)で押すと電源「切」(電源ランプ---赤色または橙色)になります。



2回目以降に電源を「入」にしたとき

例：



準備

電源プラグをコンセントへ接続します。
 (AC 100 V 50 Hz/60 Hz)

お願い ●電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。

電源を入れる

本体の電源 (ON/OFF) スイッチを押し電源を「入」にします。

電源ランプが緑色に点灯します。

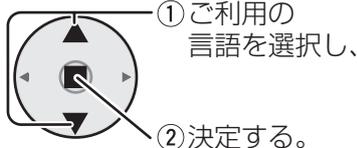
●本体の電源が「入」のとき、リモコンで操作ができます。

本機の電源を「入」にした後、しばらくの間、下のように画面表示されます。

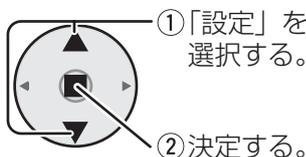
初めて電源を「入」にしたとき

次の画面が表示されます。
 リモコンで設定してください。本体のボタンでは設定できません。

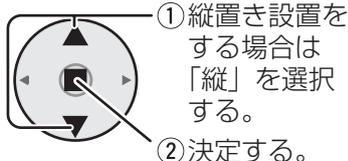
表示言語切替



現在時刻設定

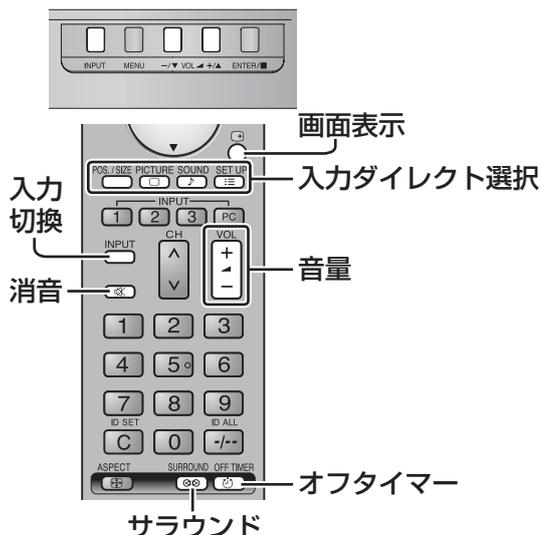


ディスプレイ設置



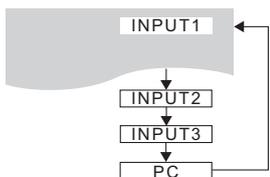
お知らせ ●これらの画面は、一度設定すると、次回電源を「入」にしたとき表示されません。
 ●設定後でも次のメニューで設定を変更できます。
 表示言語切替 ☞ 33ページ
 現在時刻設定 ☞ 41ページ
 ディスプレイ設置 ☞ 42ページ

本体底面



入力信号を切り換える

INPUT または を押して本機に入力された信号を選択します。押すごとに切り換わります。



を押すと、本機に入力された信号をリモコンで直接切り換えることができます。端子ボードを取り付けていないスロットを選択した場合は現在の入力を表示します。

- 「入力表示書換設定」で設定した信号名を表示します。(☞ 32ページ)
- 「INPUT lock」が「Off」以外の設定のときは入力は切り換わりません。(☞ 45ページ)
- コンポーネント(色差)ビデオ、RGBの切り換えは、接続した機器に合わせて初期設定(SET UP)の「コンポーネント入力切換」で設定します。(☞ 32ページ)
- ビデオ入力は「NTSC」「PAL」「SECAM」などのカラーシステム方式の切り換えができます。(☞ 29ページ)

パソコン画面に切り換える

PC IN (パソコン入力) 端子に接続したパソコンの画面になります。

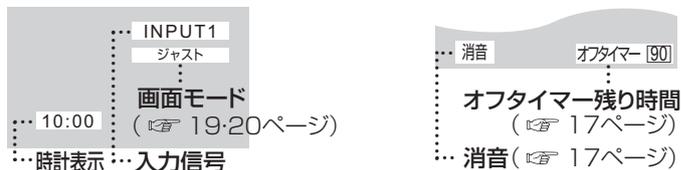
、 または を押して「PC」を選択します。

- 静止画を長時間映すと、プラズマディスプレイパネルに映像の焼き付き(残像現象)を起こす恐れがあるため、画面を少し暗くする機能(☞ 51ページ)が働きますが十分ではありませんのでご注意ください。このような現象を軽減するため、スクリーンセーバー機能のご利用をおすすめします。(☞ 34・35ページ)

入力信号・画面モードなどを知りたいとき

入力信号・画面モードなどの各種設定状態の確認ができます。

を押すと現在の入力信号と画面モードおよび現在時刻を約5秒間表示した後、オフタイマーと消音が発生中の場合はオフタイマーの残り時間を約3秒間、消音を約10秒間表示します。



- 選択している入力に映像信号がない場合は、最後に「無信号」が約30秒間表示されます。
- 時計表示をするには、現在時刻を設定し、「Clock Display」を「On」に設定してください。(☞ 41・47ページ)

音量を調整する

VOL または を押して音量を調整します。

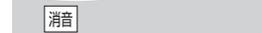


- 電源を「切」にしても現在の音量を記憶しています。
- Maximum Vol level (最大音量設定) が「On」のときは、設定した音量まで上げると表示(数値)は赤色になり、設定した音量以上にはなりません。(☞ 45ページ)

消音を使う

一時的に音声を消したいとき、来客や電話などの対応のとき便利です。

を押します。



画面に「消音」の表示が出て音が消えます。再度押すと解除されます。

- 電源の「切」、「入」または音量を変えても解除されます。
- 消音設定中は、操作後に「消音」の表示が出てお知らせします。

サラウンド (SURROUND) を使う

臨場感のある音声で楽しむことができます。

SURROUND を押します。

押すごとに「オフ」「オン」となります。



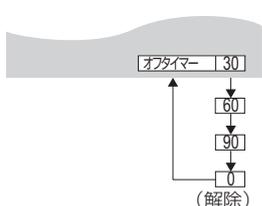
- 「音声の調整」メニューの「サラウンド」でも「オフ」「オン」の設定ができます。(☞ 26ページ)

オフタイマー (OFF TIMER) を使う

タイマー設定(30分、60分、90分)で自動的に電源を切ることができます。

OFF TIMER を押すごとにタイマー設定時間が選択できます。

- タイマーが切れる3分前になると残り時間を点滅(赤色)表示した後、電源が切れます。
- オフタイマー残り時間を知りたいときは を押します。
- オフタイマー動作中に停電などで電源が切れると、オフタイマーは解除されます。



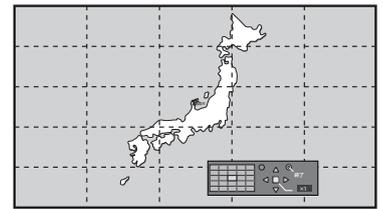
画面領域を拡大表示する（デジタルズーム）

拡大したい画面領域（25領域）を選び、選んだ画像領域を2倍、3倍、4倍に拡大します。
（リモコンで操作してください。本体底面のボタンでは操作できません。）



1 デジタルズームモードにする

MOVE ZOOM を押します。
画面のアスペクトは「フル」になり、デジタルズーム操作ガイドが表示されます。



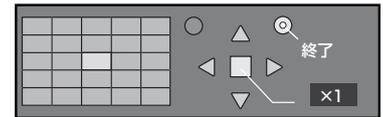
2 拡大したい画像領域を選ぶ

▲▼◀▶ を押して選びます。

- 画面を拡大しているときでも選べます。
- 以下のボタンを押すと、デジタルズームモードのまま、押されたボタンの動作を行います。

リモコン：**VOL +**、**+**、**SURROUND**、**OFF TIMER**

本体底面：**+**、**-**（音量調整）
- / ▼ VOL ▲ / +▲

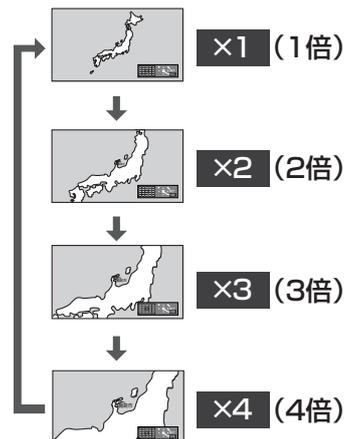


デジタルズーム操作ガイド

3 画面領域の拡大率を切り換える

■ を押すごとに、切り換わります。

- 画面の拡大率が「×1（1倍）」の場合に、約60秒間操作をしないと、終了します。
- 画面の拡大率が「×2（2倍）」、「×3（3倍）」、「×4（4倍）」の場合に、約3秒間操作をしないとデジタルズーム操作ガイドの表示が消えます。**▲▼◀▶** のいずれかを押すと、再度表示します。



4 デジタルズームモードを終了する

R を押すと、終了します。

画面はデジタルズームモードに入る前の状態になり、デジタルズーム操作ガイドの表示が消えます。

- 以下のボタンを押すと、終了します。その後、押されたボタンの動作を行います。

リモコン：**INPUT**、**1**、**2**、**3**、**PC**、**MULTI PIP**、**ASPECT**、**OFF**、**PICTURE**、**SOUND**、**SET UP**、**+**

本体底面：**+**、**-**、**+**
INPUT MENU ENTER / ■

- **POS./SIZE** を押す、またはスクリーンセーバーのタイマー起動でデジタルズームモードが終了します。
- 電源を「切」にした場合には、強制終了します。
 - ・ 本体の電源スイッチを「切」にしたとき
 - ・ オフタイマーやタイマー設定で電源が「切」になったとき
 - ・ 無信号自動オフやDPMS機能などで電源が「切」になったときなど

お知らせ

- 下記の場合は、デジタルズームモードにはなりません。
 - ・ 「マルチ画面設定」を拡大分割画面「オン」に設定しているとき
 - ・ 「ポートレート設定」を拡大分割画面「オン」に設定しているとき
 - ・ 2画面表示のとき
 - ・ スクリーンセーバー（色反転を除く）起動中のとき
- 拡大した映像は元の映像より粗い表示になります。

映像に合わせた拡大画面にする (ASPECT)



画面モード

ASPECT または を押すごとに切り換わります。

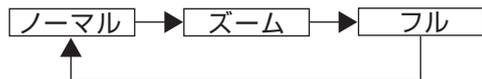
画面モードの詳細な説明については、48ページ「画面モード一覧」をご覧ください。

●ビデオ (Sビデオ) 信号入力時のとき

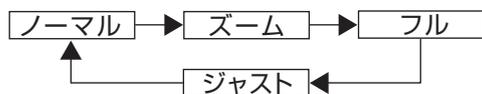


※デュアルビデオ端子 (BNC) ボード (TY-FB9BD) を装着したスロットを選択している場合、**セルフワイド** は選択できません。

●パソコン信号のとき



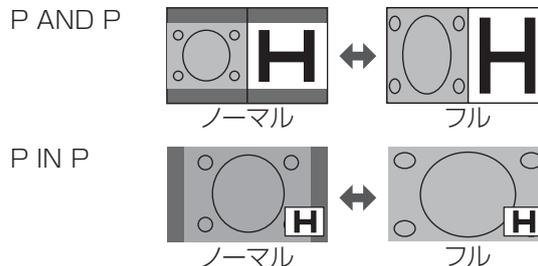
●SD信号 (525 (480) / 60i・60p、625 (575) / 50i・50p) のとき



●HD信号 (1125 (1080) / 60i・50i・60p・50p・24p・25p・30p・24sF、750 (720) / 60p・50p、1250 (1080) / 50i) のとき



●2画面モード (P AND Pの主・副画面、P IN Pの主画面) のときは、下のよう
に切り換わります。



お知らせ

- 画面モードはINPUT1、INPUT2、INPUT3、PC ごとに記憶します。2入力の端子ボード装着時は、各入力 (A/B) ごとに記憶します。
- S2映像入力について
S1映像信号が入力されると、**フル** として動作します。S2映像信号が入力されると、**ズーム** として動作しますが、画面には **ワイド** と表示されます。

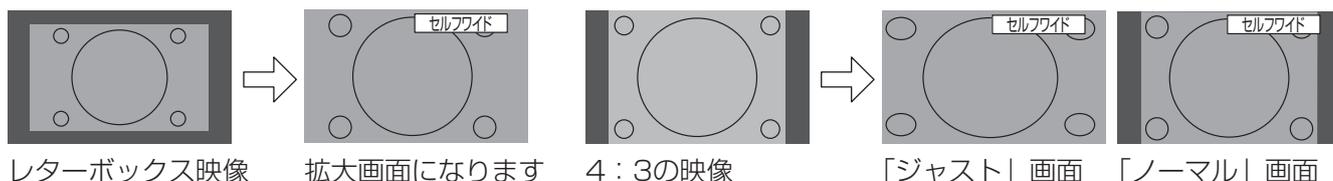
映像の横縦比 (アスペクト)

放送や映像ソフトにより画面の横と縦の比が異なります。

放送・映像ソフト	横縦比
●VHF、UHF放送 (一部のデジタル放送)	
●ハイビジョン放送 ●ワイドクリアビジョン放送 ●ビスタビジョンサイズⅠソフト (一部のデジタル放送)	
●ビスタビジョンサイズⅡソフト	
●シネマビジョンサイズソフト	

映像に合わせた拡大画面にする (ASPECT)

■自動で拡大画面にする (セルフワイド)



初期設定 (SET UP) のセルフワイド設定 (☞ 30ページ) で設定した「ジャスト」または「ノーマル」の画面

- ノイズの多い映像信号などの場合に、画面がフラッシングする場合があります。そのときは、セルフワイド以外の画面モードを選択してください。(☞ 19ページ)
- セルフワイドで映像拡大中は、画面位置/サイズの調整 (☞ 24ページ) で垂直位置、垂直サイズを調整しても記憶されません。映像拡大が解除されたときは、調整前の垂直位置と垂直サイズに戻ります。

■全画面モード (All Aspect)

オプションメニューの「All Aspect」を「On」に設定すると (☞ 47ページ)、より幅広い拡大画面の切り換えができます。全画面モードにすると、拡大画面は次のように切り換わります。画面モードの詳しい説明については、48ページ「画面モード一覧」をご覧ください。

- ビデオ (Sビデオ) 信号入力時のとき



※1 全画面モードでは、**セルフワイド** は **Panasonic Auto** と表示します。
デュアルビデオ端子 (BNC) ボード (TY-FB9BD) を装着したスロットを選択している場合、**Panasonic Auto** は選択できません。

- パソコン信号のとき



- SD信号 (525 (480) / 60i・60p、625 (575) / 50i・50p) のとき



- HD信号 (1125 (1080) / 60i・50i・60p・50p・24p・25p・30p・24sF、750 (720) / 60p・50p、1250 (1080) / 50i) のとき

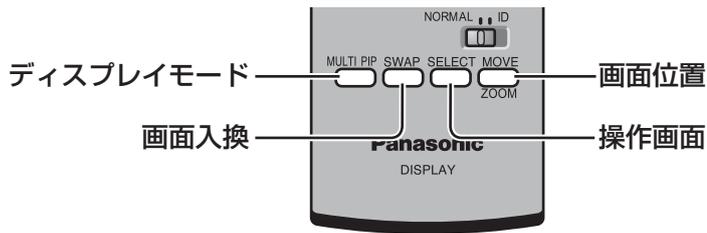


お知らせ

- このディスプレイは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されると、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意のうえ、画面モードをお選びください。
- ディスプレイを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、画面モード切り換え機能を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上の権利を侵害する恐れがあります。他人の著作物は、許諾なく営利目的で視聴させたり、改変したりすることができませんのでご注意願います。
- ワイド映像でない従来 (通常) の4:3の映像をズーム・ジャスト・フルモードを利用して、ディスプレイの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルの映像は、ノーマルモードでご覧になれます。

2画面で表示する

ビデオ映像とパソコン画像などを2画面で表示します。(リモコンで操作してください。本体底面のボタンでは操作できません。)



2画面設定

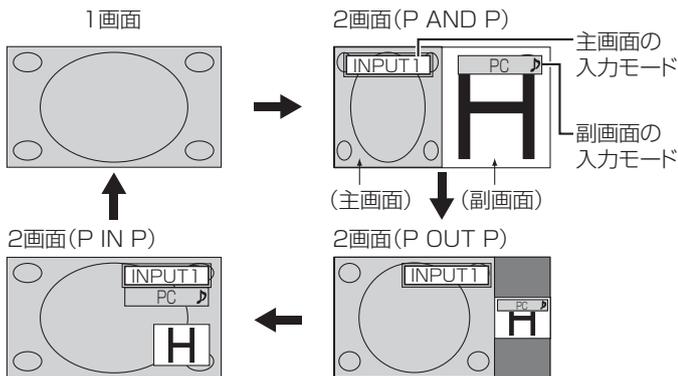
2画面表示の機能やモードは、初期設定 (SET UP) の「2画面設定」で設定します。(☞ 38ページ)

ディスプレイモードを切り換える

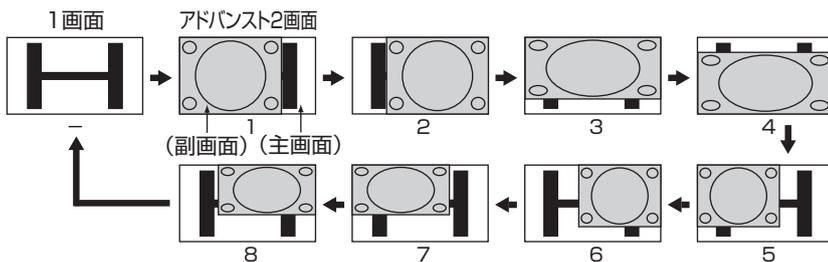
MULTI PIP を押すごとに画面が切り換わります。

お知らせ 「2画面設定」の「ディスプレイモード」を切り換えると、同様に画面が切り換わります。(☞ 38ページ)

2画面のとき：



アドバンスト2画面のとき：



お知らせ アドバンスト2画面中は、**ASPECT**、**MOVE ZOOM** ボタンでの操作はできません。

ブレンド2画面のとき (画面合成機能)：

主画面の上に副画面を合成表示します。例えば、動画や静止画の上に、パソコン画像などの文字情報をテロップ表示できます。



2画面で表示する

透過機能とオーバーレイ機能

ブレンド2画面には透過機能とオーバーレイ機能の2種類があります。これらの機能は「2画面設定」の「透過設定」または「オーバーレイ設定」で設定します。(☞ 38ページ)

透過機能

背景画像の上に文字情報などを透過して表示します。



オーバーレイ機能

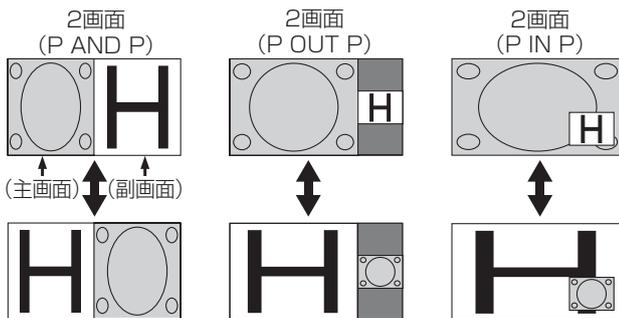
副画面の映像を透過領域/非透過領域に分離し、非透過領域のみを背景画像の上にオーバーレイ表示します。



お知らせ ディスプレイを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、ブレンド2画面機能を利用して画面の合成表示を行いますと、著作権法上の権利を侵害する恐れがあります。他人の著作物は、許諾なく営利目的で視聴させたり、改変したりすることができませんのでご注意願います。

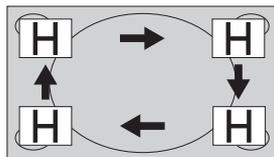
画面を入れ換える

SWAP を押すごとに主画面と副画面の映像が入れ換わります。



副画面の位置を切り換える (2画面 (P IN P) のとき)

MOVE ZOOM を押すごとに、副画面の位置が切り換わります。



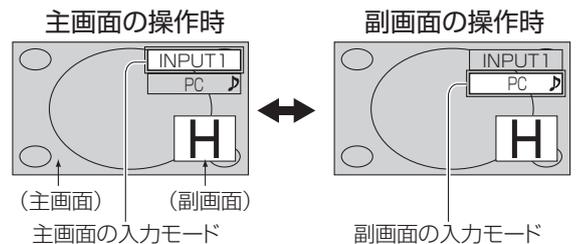
お知らせ 副画面の位置によっては、メニュー画面の表示に隠れる場合があります。

お願い 2画面で長時間、表示しないでください。焼き付きの原因になります。

- お知らせ**
- 「INPUT lock」が「Off」以外に設定されていると2画面にはなりません。
 - 主画面と副画面は、別々の回路で処理を行うため、映像の鮮明さに若干の差があります。また、主画面に表示する信号の種類や2画面の表示モードによっても、副画面の画質に差が生じる場合があります。
 - 主画面と副画面で同じ入力信号の映像は映せません。
 - アナログ (コンポーネント/RGB) とアナログ (コンポーネント/RGB) 信号を組み合わせた2画面表示はできません。
 - テレビゲームを2画面で楽しむときは、テレビゲームを主画面にしてください。(映像の乱れを防ぐため)
 - パソコンの2画面は簡易表示になり、細かい表示が十分判読できない場合があります。
 - 2画面に切り換えたときや  を押したときに2画面時音声出力 (☞ 26ページ) で選んだ出力設定に対して入力モード表示の右側に「♪」が表示され、表示側の音声が出力されます。
 - Dual Link HD-SDI端子ボード (TY-FB11DHD) で受像した2k1k信号は2画面では表示できません。

操作対象画面を切り換える

SELECT を押すごとに、操作対象画面が切り換わります。
例) 2画面 (P IN P) のとき



- お知らせ**
- 副画面操作時は  ボタンのみ動作します。
 - 副画面操作中は副画面の音声が出ます。
 - 操作しないと約5秒後に主画面操作へ自動的に戻ります。また、リモコンのボタン ( は除く) 操作でも主画面操作に戻ります。

オンスクリーンメニューについて

1 メニュー画面を表示する

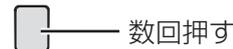
リモコン



押して選ぶ

(例：画質の調整メニュー)

本体



数回押す

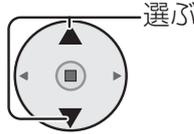
MENU
押すたびにメニュー画面が切り換わります。

通常画面→画質の調整→初期設定
←音声の調整←画面位置/サイズ←

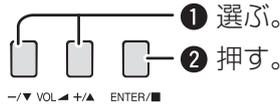
2 設定項目を選択する



(例：画質の調整メニュー)



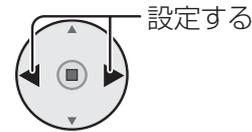
選ぶ



① 選ぶ。

② 押す。

3 設定する



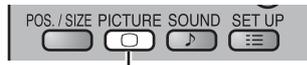
設定する



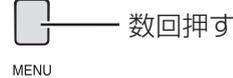
① 設定する。

② 押す。

4 設定を終了する



押す



数回押す

○ を押すと1つ前の画面に戻ります。

メニュー画面一覧

●調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力、メニューの設定により調整できる項目は変わります。

画面位置 / サイズ
標準に戻す 標準設定中
自動位置補正
水平位置 0
水平サイズ 0
垂直位置 0
垂直サイズ 0
ドットクロック 0
クロック位相 0
1:1ピクセルモード オフ
([24ページ](#))

画質の調整
標準に戻す 標準設定中
映像メニュー (スタンダード)
ピクチャー 25
黒レベル 0
色の濃さ 0
色あい 0
シャープネス 3
([27・28ページ](#))

テクニカル
標準に戻す 標準設定中
黒伸長 (0)
入力レベル 0
ガンマ 2.2
明るさ補正 オフ
([28ページ](#))

音声の調整
標準に戻す 標準設定中
音声メニュー (スタンダード)
バス 0
ミッド 0
トレブル 0
バランス 0
サラウンド オフ
2画面時音声出力 主画面
([26ページ](#))

初期設定
信号モード
スクリーンセーバー
コンポーネント入力切換 RGB
入力表示書換設定 PC
消費電力低減設定 オン
待機電力低減設定 オン
DPMS機能 オフ
無信号自動オフ オフ
表示言語切換 日本語
([41ページ](#))

マルチ画面設定
2画面設定
ポートレート設定
タイマー設定
現在時刻設定
設定 MON 99:99
曜日 MON
現在時刻 99:99
([41ページ](#))

信号モード [ビデオ]
3次元Y/C (NTSC) オフ
カラーシステム オート
デジタルシネマリアリティ オフ
セルフワイド設定 ジャスト
リフレッシュレート 100 Hz
ノイズリダクション オフ
([29～31ページ](#))

スクリーンセーバー
スタート 現在時刻 0:00
機能選択 (白色バー)
動作選択 オフ
周期時間 0:00
動作時間 0:00
サイドパネル設定 高
画面位置移動 オフ
ピーク制限 オフ
([34・35ページ](#))

マルチ画面設定
マルチ画面設定 (オン)
横拡大率 ×1
縦拡大率 ×1
目地設定 オフ
拡大位置 A1
AI運動 オフ
([36・37ページ](#))

2画面設定
2画面設定 (2画面)
ディスプレイモード -
透過設定
透過レベル
オーバーレイ設定
カットオフレベル
([38ページ](#))

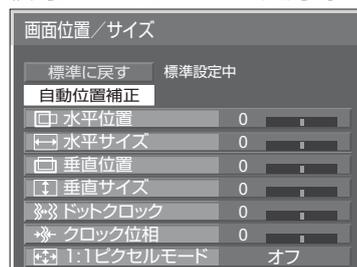
ポートレート設定
ポートレート設定 (オン)
目地設定 オフ
設定範囲 16:9
拡大位置 1
AI運動 オフ
([39・40ページ](#))

画面位置 / サイズの調整 (POS./SIZE)

- 1 POS./SIZE を押して「画面位置/サイズ」メニュー画面を表示する。
- 2 方向キーを押して設定項目を選択する。
- 3 方向キーを押して設定をする。
- 4 POS./SIZE を押して設定を終了する。
R を押すと1つ前の画面に戻ります。

●「画面位置/サイズ」メニュー画面

ビデオ(Sビデオ) / DVI / コンポーネント (色差) ビデオ
SDI / HDMI / 入力時 信号 / RGB / PC IN入力時



お知らせ 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力や、画面設定状態によって調整できる項目は変わります。

標準に戻す 標準に戻す 標準設定中
メニュー表示中に **N** を押す、または「標準値に戻す」を選んでいるときに **■** を押すと表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。「標準設定中」の表示は緑色になります。

自動位置補正

パソコン信号の入力時に「水平/垂直位置」、「クロック位相」、「ドットクロック」を自動補正して、水平サイズ、垂直サイズを標準値にします。

パソコン信号の映像を表示中に「自動位置補正」を選び、**■** (**ENTER/■**) を押す。

- お知らせ**
- ドットクロック162 MHz以上の信号のときは「ドットクロック」の自動補正はされません。
 - デジタルRGB入力のときは「クロック位相」の自動補正はされません。
 - 画像の端が判らないような画像や暗い画像を入力して自動位置補正をすると調整できないことがあります。このような場合は明るく境界線などが明確な画像に切り換えてから再度、自動位置補正をしてください。

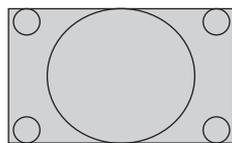
お願い ● 自動位置補正で最適な調整にならない場合は、一度「標準に戻す」を選び、**■** を押してください。

水平位置	画面を左右に移動します。 	垂直位置	画面を上下に移動します。
水平サイズ	画面を左右に拡大/縮小します。 	垂直サイズ	画面を上下に拡大/縮小します。
ドットクロック	縞模様を表示した場合に、周期的な縞模様 (ノイズ) が発生したときは、ノイズが少なくなるように調整してください。		
クロック位相 (RGB/PC IN入力時)	RGB信号やパソコン信号を入力した場合に画面の輪郭に、にじみやぼけが発生することがあります。もっと見やすくなるよう調整してください。		

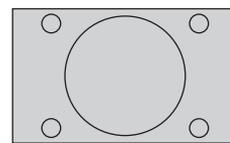
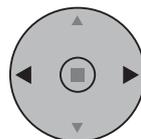
- お知らせ**
- 2画面のときは調整できません。
 - 調整のときに画像表示エリア外にノイズが出る場合がありますが、異常ではありません。
 - セルフワイドで映像拡大中に垂直位置、垂直サイズを調整しても記憶しません。(P.20ページ)
 - 入力される信号によっては別売オプション端子ボードが必要になります。

1:1 ピクセルモード

1125i、1125pや1250iのとき、画面サイズを調整します。



「オフ」



「オン」

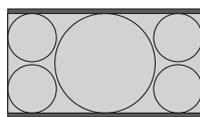
対応する入力信号

1125 (1080) /50i、60i、24sF、24p、25p、30p、50p、60p、1250 (1080) /50i

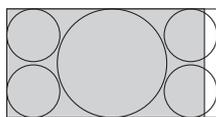
- 映像の周囲にノイズ状のものが見えるときは「オフ」設定にしてください。
- 「オン」に設定の場合は、水平サイズ、垂直サイズ、ドットクロックは調整できません。

1:1 ピクセルモード (2k1k) (2k1k信号の場合)

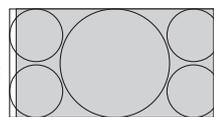
入力信号が2k1k信号 (2048×1080/24p、2048×1080/24sF) のとき、画面サイズは次のように調整されます。



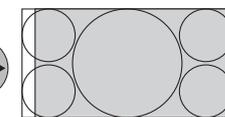
「オフ」



「オン (左)」



「オン (中央)」



「オン (右)」

お知らせ 2k1k信号は、Dual Link HD-SDI端子ボード (TY-FB11DHD) 装着時のみ受像可能となります。

音声の調整 (SOUND)

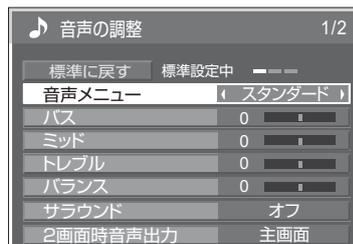
1 を押して「音声の調整」メニュー画面を表示する。

2 を押して設定項目を選択する。

3 を押して設定する。

4 を押して設定を終了する。
を押すと1つ前の画面に戻ります。

●「音声の調整」メニュー画面



標準に戻す

標準に戻す 標準設定中

メニュー表示中に  を押す、または「標準値に戻す」を選んでいるときに  を押すと表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。「標準設定中」の表示は緑色になります。

■ 音声メニュー

最適な音質を選びます。



- ……スタンダード : 送られてくるそのままの音で聞きます。
- ダイナミック : メリハリ感を強調した音で聞きます。
- クリア : 人の声を聞きやすくした音で聞きます。

■ バス/ミッド/トレブル/バランス



- ……低音を調節します。
- ……中音域を調節します。
- ……高音を調節します。
- ……左右の音量を調節します。

- バス、ミッド、トレブル、サラウンドは「音声メニュー」の「スタンダード」、「ダイナミック」、「クリア」ごとに記憶します。

■ サラウンド



- ……オフ : 通常の音声。
- オン : 臨場感のある音声。

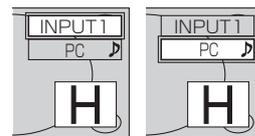
- リモコンの  でも「オン」、「オフ」の設定ができます。(P.17ページ)

■ 2画面時音声出力

2画面のとき聞きたい画面の音声を選びます。



- 2画面時音声出力は
 - ・2画面から1画面にすると主画面の音声に戻ります。
 - ・選んだ出力設定に対して入力信号表示の右側に「♪」が表示されます。



SDI音声出力

本メニューは、HD-SDI端子ボード(音声対応)(TY-FB10HD)またはDual Link HD-SDI端子ボード(TY-FB11DHD)が装着されている場合に表示されます。

●「SDI音声出力」メニュー画面



お知らせ

- 本メニューは、HD-SDI端子ボード(音声対応)(TY-FB10HD)またはDual Link HD-SDI端子ボード(TY-FB11DHD)が装着されているスロットを選択している時のみ設定できます。
- 2画面中はSDI音声出力の設定はできません。

左チャンネル チャンネル1 ~ 16 左チャンネルの音声チャンネルを選択します。

右チャンネル チャンネル1 ~ 16 右チャンネルの音声チャンネルを選択します。

サウンド出力 オフ : SDI音声を出力しません。
 オン : SDI音声を出力します。

レベルメーター オフ
 1-8ch
 9-16ch
 ディスプレイに表示する音声レベルメーターの音声チャンネルを設定します。音声レベルメーターは、ディスプレイの左右に4チャンネルずつ、計8チャンネル表示します。「オフ」にすると音声レベルメーターを表示しません。

画質の調整 (PICTURE)

1 **PICTURE** を押して「画質の調整」メニュー画面を表示する。

2 方向キーを押して設定項目を選択する。

3 方向キーを押して設定する。

4 **PICTURE** を押して設定を終了する。
R を押すと1つ前の画面に戻ります。

お知らせ 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力や、画面設定状態によって調整できる項目は変わります。

「画質の調整」メニュー画面

ビデオ(Sビデオ) / コンポーネント(色差)ビデオ信号入力時 RGB / PC信号 / DVI入力時



標準に戻す 標準に戻す 標準設定中

メニュー表示中に **N** を押す、または「標準値に戻す」を選んでいるときに **ENTER** を押すと表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。「標準設定中」の表示は緑色になります。

■ 映像メニュー

映像ソースや本機を使用する場所の環境に適した見やすい映像に切り換えます。

- 映像メニュー (標準) …… **スタンダード** : 標準的な明るさで使用する場合に適した画像になります。
ダイナミック : 明るい場所で使用する場合に適した画像になります。
シネマ : 映画を見る場合に適した画像になります。
(映画館のような、暗い画面で階調性を重視した画像)
モニター : 放送局や映画コンテンツの作成用途に適しています。
画面全体の平均輝度 (APL) が変化しても、同じ信号レベルであれば明るさが変化しない画像になります。

お知らせ 「映像メニュー」を「モニター」にすると、以下のメニューは設定できません。

- 画質の調整 : ピクチャー
初期設定 : 消費電力低減設定 (32ページ)
スクリーンセーバー : ピーク制限 (35ページ)
マルチ画面設定 : AI連動 (37ページ)
ポートレート設定 : AI連動 (40ページ)

■ ピクチャー

映像の明暗度を調整します。

ピクチャー (25) 暗く ◀ ▶ 明るく

■ 黒レベル

画面の暗い部分 (黒色) を調整します。

黒レベル (0) 暗く ◀ ▶ 明るく

■ 色の濃さ

色の濃さ (0) 淡く ◀ ▶ 濃く

■ 色あい

肌色部分の色あいを調整します。

色あい (0) 赤紫色がかかった色に ◀ ▶ 緑色がかかった色に

■ シャープネス

映像輪郭の鮮明度を調整します。

シャープネス (3) ソフト ◀ ▶ シャープ

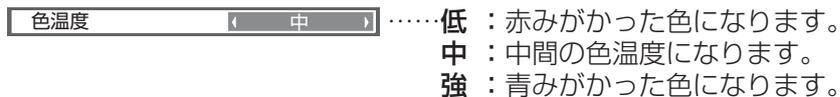
お知らせ

- 「映像メニュー」はINPUT1、INPUT2、INPUT3、PCごとに記憶します。2入力の端子ボード装着時は、各入力 (A/B) ごとに記憶します。
- 「ピクチャー」は明るい映像のときにより明るく、また暗い映像のときにより暗く調整してもわずかしき変化しません。
- PC信号入力時は「色の濃さ」「色あい」は調整できません。
- 入力される信号によっては別売オプション端子ボードが必要になります。

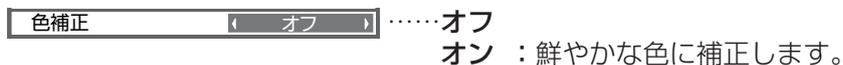
画質の調整 (PICTURE)

■ 色温度

画面の色調を切り換えます。

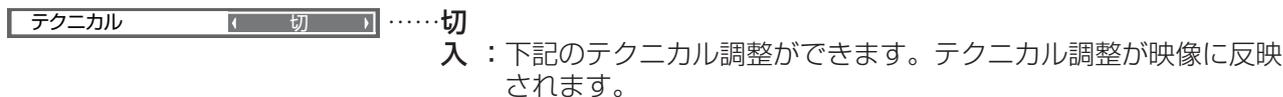


■ 色補正



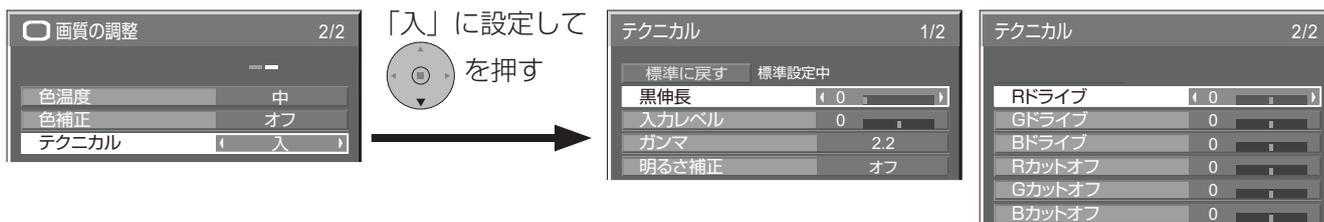
■ テクニカル

お好みにより、さらにきめ細かな調整を行うことができます。



テクニカル調整

● 「テクニカル」サブメニュー画面



お知らせ

- 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力や、画面設定状態によって調整できる項目は変わります。
- 2画面中はテクニカル調整はできません。

標準に戻す

メニュー表示中に を押す、または「標準値に戻す」を選んでいときに を押すと表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。「標準設定中」の表示は緑色になります。

調整項目	調整範囲	調整内容
黒伸長	0 (補正なし) ~ 8 (補正強)	中間より暗い部分の階調の変化を調整します。
入力レベル	-32 (レベル低) ~ +32 (レベル高)	特に白い部分や非常に明るい部分の映像を入力信号レベルで調整します。
ガンマ	Sカーブ 2.0 2.2 2.5 2.6*	明るさ感を調整します。 *Dual Link HD-SDI端子ボード(TY-FB11DHD)で2k1k信号を受像している時はガンマ「2.6」も選択可能となります。
明るさ補正	オフ オン	「オン」にすると暗いシーンを見やすくします。
Rドライブ	-30 (色温度高) ~ +30 (色温度低)	赤色の明るい部分の強弱を調整します。
Gドライブ	-30 ~ +30	緑色の明るい部分の強弱を調整します。
Bドライブ	-30 (色温度低) ~ +30 (色温度高)	青色の明るい部分の強弱を調整します。
Rカットオフ	-30 (色温度高) ~ +30 (色温度低)	赤色の暗い部分の強弱を調整します。
Gカットオフ	-30 ~ +30	緑色の暗い部分の強弱を調整します。
Bカットオフ	-30 (色温度低) ~ +30 (色温度高)	青色の暗い部分の強弱を調整します。